

2025 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	キャビンアテンダント・グランドスタッフ 科 2年制コース・語学研修専攻 コース	担当	島尻朋花	開講時期	2.3年次
科目名	CA実習Ⅱ	授業 方法	講義・演習(実習)	教育時間	48
教科書	サービス接客検定公式テキスト サービス接客検定問題集				
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	社会人やサービススタッフとしてのマナーを習得する。			
実務経験	ジェットスター・ジャパンCAや接客業での経験を活かす			
授業の進め方	テキストや実例にそってサービス接客を学ぶ			
到達目標	サービススタッフとしての立ち振る舞いや話し方などを習得する。お客様の心理を理解し寄り添った対応の習得。			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	50%		50%	100%
授 業 計 画				
(1単位時間＝50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	サービススタッフの資質	12		
2	一般知識	12		
3	対人・実務技能	12		
4	ロールプレイ	12		

学科	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフ科	学年	2.3年次
科目	CA実習Ⅱ	授業方法	実習

2/2ページ

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
質 タ ッ プ の 資 質	a. サービススタッフの基本 b. 挨拶・言葉遣い c. 身だしなみ・立ち振る舞い	4月～6月	12	
一 般 知 識	a. 訪問・案内時のマナー b. エレベーター・車内などでのマナー c. お茶の淹れ方	7月～10月	12	
対 人 ・ 実 務 技 能	a. 電話対応の仕方 b. クレーム対応 c. クレーム事例とロールプレイ	10月～12月	12	
ロ ー ル プ レ イ	a. テキストから事例を学ぶ b. 事例を基にロールプレイ c. 検定対策(問題集を解く)	1月～3月	12	

2025 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	キャビンアテンダント・グランド スタッフ科	担当	寺本聖菜	開講時期	2・3年次 通年
科目名	一般教養Ⅱ(言語)	授業 方法	講義・演習・実習	教育時間	23
教科書	史上最強SPI&テストセンター超実戦問題集				
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	就職試験で問われるSPIの言語分野や一般教養、一般常識問題の基礎知識を身に付ける			
実務経験	自身の就職活動時に学んだ部分を活かしていく。			
授業の進め方	実践問題を解きながら知識を深めていく			
到達目標	1.SPI言語分野の問題を解くことができる□ 2.CAやGS受験の際出題される一般教養、一般常識問題を解くことができる□			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	40%	0%	10%	50%
授 業 計 画				
(1単位時間＝50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	SPI言語分野	18		
2	一般常識	5		

学科	キャビンアテンダント・グランドスタッフ科	学年	2年・3年
科目	一般教養Ⅱ（言語）	授業方法	講義

2/2ページ

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
S P I 言 語 分 野	a 同意語・反意語・類義語	4月	3	
	b 二語の関係	5月	3	
	c ことわざ・慣用句・四字熟語	6月	3	
	d 語句の意味	7月	2	
	e 空所補充	9月	3	
	f 文章整序	10月	3	
	g 長文読解	11月	3	
一 般 常 識	a 時事問題	12月	2	
	b 漢字	1月	2	

2025 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	キャビンアテンダント・グランドスタッフ 科 2年制コース・ 語学研修専攻コース	担当	宮田雅美	開講時期	2・3年次通年
科目名	就活マナーⅡ	授業 方法	講義・演習・実習	教育時間	73
教科書	就職試験の意義を知る ビジネスマナーの基本と実践				
参考書	月間エアステージ				

教 育 の 内 容				
授業概要	航空業界で役立つマナーと就職活動の際に必要なマナーを学ぶ			
実務経験	日本航空株式会社の国際線客室乗務員と、CAスクール経営の経験を活かす			
授業の進め方	講義・実技を中心			
到達目標	就職活動・航空業界で役立つマナーⅡ			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	80%	0%	20%	100%
授 業 計 画				
(1単位時間＝50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	職場のルールとマナー	10		
2	美しい姿勢と身だしなみ	10		
3	敬語Ⅱ	10		
4	ビジネス電話のマナー	10		
5	就職指導Ⅱ	10		
6	就職面接指導Ⅱ	23		

学科	キャビンアテンダント・グランドスタッフ科 2年制コース・語学研修専攻コース	学年	2・3年
科目	就活マナーⅡ	授業方法	講義

2/2ページ

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
職場のマナー Ⅰ	a.職場での執務態度 b.職場でのマナーポイント	4月	10	
身だしなみと 美しい姿勢 Ⅰ	a.身だしなみのマナー b.第一印象について	5月	10	
敬語 Ⅱ	a.言葉は心の遣い b.敬語の種類	6月	10	
ビジネス の マナー Ⅰ 電話	a.3大特徴 b.電話のマナー c.ビジネス電話の原則	7月	10	
就職活動 指導 Ⅱ	a.エントリーシートの書き方	9月～11月	10	
就職活動 面接指導 Ⅱ	a.エアライン別面接指導	12月～3月	23	

2025 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目 ・ 一般科目

1/3ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	キャビンアテンダント・グランドスタッフ科	担当	国守 剛 (常勤)	開講時期	2年次 通年
科目名	コンピューター演習	授業 方法	講義・演習・実習	教育時間	60
教科書	例題30+演習問題70でしっかり学ぶExcel標準テキストWindows11/Office2021対応版 他 独自作成資料				
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	コンピューター基礎知識からEXCEL等の実務系アプリケーションまでを演習を通じて情報リテラシーを学ぶ。到達目標は社会人1年目に必要とされるICT活用スキル。			
実務経験	ネットワーク・エンジニア、パソコン検定インストラクター、高校情報系教諭			
授業の進め方	・WEBワーク(テスト)演習を通じて、情報リテラシーの基礎を習得する。 ・対面授業を通じてEXCEL等のアプリケーションを実習スタイルで習得し、情報処理の基本を学ぶ			
到達目標	入社時に要求されるICT活用スキルを有する人材 ■ 基本的なICT活用による職務の遂行と問題解決が、人を頼らずにできる ■ 基本的なICT知識・スキルを有する			
学業成績の 評価方法	期末得点(WEBテスト得点)	実技点	評点	評価点
	50%	50%	0%	0%
授 業 計 画				
(1単位時間=50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
【前期】				
AH	コンピューター一般知識3Q	5		
	情報通信ネットワーク3Q	4		
	情報モラルと情報セキュリティ3Q	2		
1	ガイダンス／環境設定／DX説明	1		
2	EXCEL PART1/PART2	1		
3	PART3	10		
	計	23		
【後期】				
AH	情報モラルと情報セキュリティ3Q	1		
	【AH】コンピューター一般知識J2Q	3		
	【AH】情報通信ネットワークJ2Q	2		
	【AH】情報モラルと情報セキュリティJ2Q	2		
	【AH】ICTを活用した問題解決J2Q	2		
	【AH】時事・習熟状況に応じた課題	7		
1	PART4	3		
2	PART5	6		
3	PART6	8	社会人導入項目	

学科	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフ科	学年	2年
科目	コンピューター演習(後期)	授業方法	演習

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
AH	情報リテラシー I ①コンピュータ知識3Q(1)	4 ～ 9 月	1	詳細内容 下段記載
	情報リテラシー I ①コンピュータ知識3Q(2)		1	
	情報リテラシー I ①コンピュータ知識3Q(3)		1	
	情報リテラシー I ①コンピュータ知識3Q(4)		1	
	情報リテラシー I ①コンピュータ知識3Q(5)		1	
	情報リテラシー I ②情報通信ネットワーク3Q(1)		1	
	情報リテラシー I ②情報通信ネットワーク3Q(2)		1	
	情報リテラシー I ②情報通信ネットワーク3Q(3)		1	
	情報リテラシー I ②情報通信ネットワーク3Q(4)		1	
	情報リテラシー I ③情報モラルとセキュリティ3Q(1)		1	
	情報リテラシー I ③情報モラルとセキュリティ3Q(2)		1	
コン ピ ュ ー タ ー 知 識	デジタルデータの処理の概念を説明できる 入力装置の種類と特徴を説明できる 出力装置の種類と特徴を説明できる 記憶装置の種類と特徴を説明できる 利用者サービスの種類を理解した上でサービスを利用できる デジタル化の利点や問題点を説明できる コンピューターを利用したデータの管理や分析ができる	詳細	5	
情 報 通 信 ネ ッ ト ワ ー ク	情報通信システムの基本的な仕組みを説明できる ログオン/ログオフの意味について説明できる ネットワーク資源の基本的な活用ができる ホームページの仕組みを理解した上で活用できる 電子メールの機能を理解した上で活用できる	詳細	4	
情 報 モ ラ ル と セ キ ュ リ ティ	情報モラルの重要性を理解した上で注意事項を遵守できる 個人情報保護の重要性を理解した上で注意事項を遵守できる 情報セキュリティの重要性を理解した上で注意事項を遵守できる コンピューターウイルスに対する基本的な対処ができる 知的財産権や肖像権の重要性を理解した上で注意事項を遵守できる	詳細	2	
導 入	【ガイダンス】 シラバス・DX説明 環境準備・設定	4月	1	
表 計 算 ・ デ ー タ ベ ー ス (E X C E L)	PART1/PART2	4月	1	
	PART3 Lesson1	5月	1	
	PART3 Lesson2		1	
	PART3 Lesson3		1	
	PART3 Lesson4		1	
	PART3 Lesson5	6月	1	
	PART3 Lesson5 演習		1	
	PART3 Lesson6		1	
	PART3 Lesson7	7月	1	
	PART3 Lesson7		1	
	PART3 まとめ	9月	1	
	PART4 Lesson1		1	

学科	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフ科	学年	2年
科目	コンピュータ演習(後期)	授業方法	演習

3/3ページ

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
AH	情報リテラシー I ③情報モラルとセキュリティ3Q(3)	9月～3月	1	詳細内容 下段記載
	情報リテラシー I ④ICTを活用した問題解決3Q(1)		1	
	情報リテラシー II ①コンピュータ知識J2Q(1)		1	
	情報リテラシー II ①コンピュータ知識J2Q(2)		1	
	情報リテラシー II ①コンピュータ知識J2Q(3)		1	
	情報リテラシー II ②情報通信ネットワークJ2Q(1)		1	
	情報リテラシー II ②情報通信ネットワークJ2Q(2)		1	
	情報リテラシー II ③情報モラルとセキュリティJ2Q(1)		1	
	情報リテラシー II ③情報モラルとセキュリティJ2Q(2)		1	
	情報リテラシー I ①ICTを活用した問題解決J2Q(3)		1	
	時事・習熟状況に応じた課題(1)		1	
	時事・習熟状況に応じた課題(2)		1	
	時事・習熟状況に応じた課題(3)		1	
	時事・習熟状況に応じた課題(4)		1	
	時事・習熟状況に応じた課題(5)		1	
	時事・習熟状況に応じた課題(6)		1	
	時事・習熟状況に応じた課題(7)		1	
コンピュータ知識	デジタルデータの処理の概念を説明できる 入力装置の種類と特徴を説明できる 出力装置の種類と特徴を説明できる 記憶装置の種類と特徴を説明できる 利用者サービスの種類を理解した上でサービスを利用できる デジタル化の利点や問題点を説明できる コンピュータを利用したデータの管理や分析ができる	詳細	3	
ネットワーク情報通信	情報通信システムの基本的な仕組みを説明できる ログオン/ログオフの意味について説明できる ネットワーク資源の基本的な活用ができる ホームページの仕組みを理解した上で活用できる 電子メールの機能を理解した上で活用できる	詳細	2	
セキュリティ情報モラル	情報モラルの重要性を理解した上で注意事項を遵守できる 個人情報保護の重要性を理解した上で注意事項を遵守できる 情報セキュリティの重要性を理解した上で注意事項を遵守できる コンピュータウイルスに対する基本的な対処ができる 知的財産権や肖像権の重要性を理解した上で注意事項を遵守できる	詳細	3	
ICT問題を活用した	【意思決定】 収集または与えられた情報をもとに、物の選択や行為の決定を行うためのアルゴリズムを組み立て、意思決定に役立てることができる 【システム分析と設計】 相互に関連し合う要素から構成される体系、方式、組織などを演繹的・帰納的に解析・設計することができる 【不測の事態への対応】 トラブル、割り込み、予定からの逸脱、第三者の誤りの修復などに対応することができる	詳細	2	
表計算・データベース(Excel)	PART4 Lesson1		1	社会人 導入項目
	PART4 Lesson2		1	
	PART4 Lesson3		1	
	PART5 Lesson1/Lesson2		1	
	PART5 Lesson3		1	
	PART5 Lesson3		1	
	PART5 Lesson4		1	
	PART5 まとめ1		1	
	PART5 まとめ2		1	
	PART6 Lesson1①		1	
	PART6 Lesson1②(ネスト)		1	
	PART6 Lesson2①		1	
	PART6 Lesson2②(絶対参照)		1	
	PART6 Lesson3		1	
	PART6 Lesson4		1	
	PART6 Lesson5①		1	
	PART6 Lesson5②		1	

2025授業計画書（シラバス）

科目区分 専門科目 一般科目 1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	航空ビジネス科 2年制コース・語学研修専攻コース	担当	ビャンバスレン、 ソドエルデネ（ 常勤）	開講時期	1年次 通年
科目名	ダンスⅡ	授業 方法	講義・ <u>演習・実習</u>	教育時間	24
教科書	—				
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	ヒップホップと社交ダンスの基本ステップを中心に練習し、姿勢、歩き方、筋肉の使い方を向上させる授業です。ダンスは全身を使う運動であり柔軟性やバランス感覚、筋力の向上に役立ちます。毎週ダンスレッスンに参加することで、精神的に健康になり、気分も高揚する効果があります。ダンスを通じて自信を高め、身体的発達を促進します。 ※月1回、元劇団四季・関東エリア大手テーマパークなどで活躍されている井上万葉先生による【発声・滑舌・話し方ワークショップ】を行います。			
実務経験	担当ビャンバスレン→2024年度、航空ビジネス科1、2年生コース・語学研修専攻コース 実務経験あり			
授業の進め方	・ストレッチ ウォーミングアップ及びアイソレーション ・基本ステップ練習 ・簡単なダンス振り練習 ・振り付けダンス踊り込み ・クールダウン、リラックス			
到達目標	1. 身体的: 姿勢や筋肉の使い方を良くし重心バランスや柔軟性を高める。 2. 精神面: 自信を高め、記憶力の向上、認知能力を高める。 3. 自信: 話し方や声の大きさと印象を左右するため、【発声・滑舌・話し方ワークショップ】でビジネスシーンで通用する話し方を習得します。			
学業成績の 評価方法	評点	実技点	素点	評価点
	50%	20%	30%	100%
授 業 計 画				
(1単位時間=50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	ストレッチ	5分		
2	ウォーミングアップ&アイソレーション	10分		
3	基本ステップ練習	10分		
4	ダンス振り練習	10分		
5	ダンス踊り込み(グループごと)	10分		
6	クールダウン&リラックス	5分		
	合計	50分		

学科	航空ビジネス科 2年制コース・語学研修専攻コース	学年	2年
科目	ダンスⅡ	授業方法	実習

2/2ページ

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
基本実習Ⅰ	HIPHOPダンス初中級 ルンバの基本ステップ(Ⅱ)	4月～6月	7	
基本実習Ⅱ	HIPHOPダンス初中級 試験内容練習 チャチャチャの基本ステップ(Ⅱ) 試験内容練習	7月～9月	6	前期期末試験あり
基本実習Ⅰ	HOUSEダンス基本動作(Ⅱ) サンバの基本ステップ(Ⅱ)	10月～12月	8	
基本実習Ⅱ	HIPHOPダンス振り付け(Ⅱ) 社交ダンス振り付け(Ⅱ)	1月～3月	3	前期期末試験あり
表現の仕方	HIPHOPダンス授業 社交ダンス授業 各ダンス種類のダンス発表			
			24	

2025 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	キャビンアテンダント ・グランドスタッフ科	担当	加戸 壮之 (非常勤)	開講時期	2・3年次 通年
科目名	航空概論Ⅱ	授業 方法	講義・演習・実習	教育時間	72
教科書	—				
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	実際に発生した事故・事象をCRMの観点から捉え、CRMスキルを実際の業務で活用できるようになることを目指す。また、航空の現場で起こる突発的な事象・事案に対し、その時点で取り得る最良の判断を短時間で選択できる能力を養う。			
実務経験	機長として乗務した経験を活かし、実際に航空の現場で必要とされる能力を養う授業を行う。			
授業の進め方	実際の事故・事象を分析し、意見を出し合ってもらい、ディスカッション方式で深掘りしていく。エアラインの訓練でも使用される、カナダで制作された事故検証ドキュメンタリーのDVDも使用する。			
到達目標	1. CRMを理解し、CRMスキルを活用した考え方、行動を取れるようにする。 2. 事案に対し、短時間で取り得る最良の判断を下す能力を身に付ける。 3. 航空人として、安全の確保が何事にも勝るものであることを十分に理解する。			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	0%	80%	20%	100%
授 業 計 画				
(1単位時間＝50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	航空業界の基礎知識	5		
2	航空事故	20		
3	Communication能力	10		
4	CRM	30		
5	安全教育	7		

学科	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフ科	学年	2・3年
科目	航空概論Ⅱ	授業方法	講義

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
航空業界の基礎知識	a. 航空業界で必要とされる知識・能力 b. SNS使用や飲酒など、航空人として制限される事項	4月～5月	5	
航空事故	a. 代表的な航空事故 b. 航空事故とその影響、航空事故を防ぐために	5月～6月	20	
Communication能力	a. 正確に情報を伝達する能力 b. 情報伝達演習	6月～7月	10	
CRM	a. CRMとは何か、CRMスキルを活用するとは b. CRM欠如が原因の事故の検証、CRMスキルの演習	7月～2月	30	
安全教育	a. 航空の安全とは b. 保安要員としてすべきこと、心構え c. 過去に発生した不安全事故の研究	2月～3月	7	

2025 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフ 科 2年制コース・語学研修専攻コース	担当	程 雪茹 (非常勤)	開講時期	2年次 通年
科目名	中国語II	授業 方法	講義・演習・実習	教育時間	76
教科書	改訂版 出るところだけ 中国語検定4級 合格一直線(アスク出版)				
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	上記テキストを中心に日常生活及びビジネスでよく使われる中国語表現を習得する。準四級と四級の試験によく出題する問題を練習する。			
実務経験	—			
授業の進め方	発音、語彙、文型を学習し、中国語検定4級レベルチェックする。			
到達目標	正確な発音及び日常会話能力を習得する。 中国語検定準4級・4級を目指す。			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	80%	—	20%	100%
授 業 計 画				
(1単位時間=50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	単語	20		
2	文法	20		
3	リスニング	20		
4	中国語検定4級対策	16		

学科	キャビンアテンダント・グラندスタッフ科	学年	2年
科目	中国語II	授業方法	講義

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間
単語	単語トレーニング	4月～3月	20
文法	疑問詞	4月～3月	20
	介詞		
	副詞		
	量詞		
	存現文		
	二重目的語		
	連動文		
	比較		
	補語		
中国語検定	発音	6月～3月	16
	リスニング		
	漢字		
	文法		
リスニング	リスニング練習	4月～3月	20

備考

2025 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	キャビンアテンダント・グランドスタッフ 科 2年制コース・語学研修専攻コース	担当	島尻 朋花 寺本 聖菜	開講時期	2年次 通年
科目名	キャリアデザイン	授業 方法	講義・演習・実習	教育時間	46
教科書	—				
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	客室乗務員・グランドスタッフとして入社後に役立つ知識をケーススタディや参考書を使用し学ぶ			
実務経験	客室乗務員・グランドスタッフ			
授業の進め方	実務経験、参考書を使用しながら学生参加型で行う			
到達目標	社会人として、航空業界のサービススタッフとして即戦力になる			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	0%	50%	50%	100%
授 業 計 画				
(1単位時間＝50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	客室乗務員のケーススタディ	18		
2	グランドスタッフのケーススタディ	23		
3	社会人としての常識、マナー	5		

学科	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフ科	学年	2年
科目	キャリアデザイン	授業方法	実習

2/2ページ

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
客室乗務員 のケーススタディ	a.機内で起こった(起こり得る)出来事のケーススタディ b.ケーススタディを元にしたロールプレイ	4月～3月	18	
社会人としての常識	a.社会に出てからのマナー、常識 b.航空業界の常識、ルール	4月～3月	5	
GS ケーススタディ	a.実際にあった事象でのケーススタディ	4月～3月	11	
	b.ケーススタディを元にしたロールプレイ		12	

2025 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	キャビンアテンダント・グランド スタッフ科	担当	寺本聖菜	開講時期	2・3年次 通 年
科目名	敬語検定Ⅱ	授業 方法	講義・演習・実習	教育時間	29
教科書	スラスラわかる敬語BOOK				
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	1年次に学んだ敬語に加え、マナー要素も取り入れながら敬語力を高める。			
実務経験	—			
授業の進め方	プリント問題を解きながら、場面ごとに適した敬語を伝えていく。			
到達目標	ビジネスシーンで適したマナーと敬語の知識を定着させ、社会人生活前に身に着ける。			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	70%	10%	20%	100%
授 業 計 画				
(1単位時間＝50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	職場でのコミュニケーション	6		
2	電話対応	6		
3	ビジネスメールの作成	4		
4	社外での敬語	9		
5	その他の言いまわし	4		

学科	キャビンアテンダント・グランドスタッフ科	学年	2・3年
科目	敬語検定Ⅱ	授業方法	講義

2/2ページ

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
	a.職場でのコミュニケーション b.電話対応	4～10月	6 6	
	c.ビジネスメールの作成 d.社外での敬語□	11月～3月	4 9	
	e.その他の言いまわし□	3月	4	

2025 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	キャビンアテンダント・グランドスタッフ 2年 制コース・語学研修専攻コース	担当	高岡教代 (常勤)	開講時期	2年次 通年
科目名	TOEIC指導Ⅱ	授業 方法	講義・ <u>演習</u> ・実習	教育時間	92
教科書	—				
参考書	TOEIC L&Rテスト 文で覚える単熟語 SCORE600 公式TOEIC Listening&Reading 問題集10,11				

教 育 の 内 容				
授業概要	TOEICのスコアアップを目指しながら総合的な英語力を養う			
実務経験	英会話学校にて会話と英語資格の指導にあたる。その後、国際協力機関にてボランティア事業、開発教育、研修事業、民間連携事業等国内外の支援業務にあたる。			
授業の進め方	本番形式の問題を使用してリスニングとリーディングをバランスよく練習する			
	TOEIC以外の音源・動画・記事なども活用し実践的で総合的な英語力を身に着ける			
	Augmented Hourでは語彙力の強化を行う			
到達目標	1 TOEIC公開テストにて600点以上の取得を目指す 2 Augmented Hourを中心に語彙力を強化する			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	80%	—	20%	100%
授 業 計 画				
(1単位時間＝50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	Part1 写真描写問題	2		
2	Part2 応答問題	3		
3	Part3 会話問題	10		
4	Part4 説明文問題	10		
5	Part5 短文穴埋め問題	15		
6	Part6 長文穴埋め問題	3		
7	Part7 読解問題	5		
8	語彙	44	AH	

学科	キャビンアテンダント・グランドスタッフ科 2年制コース・語学研修専攻コース	学年	2・3年
科目	TOEIC指導Ⅱ	授業 方法	演習

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
写真描写問題	a 人物 b モノや風景 c 動作や状態	通年	2	
応答問題	a HW疑問文 b 質問文でない疑問文		3	
会話問題	a 場所や職業を問う問題 b キーワード問題 c 話題を問う問題		10	
説明文問題	a 先読みの技術 b 動画やニュースを用いたリスニング練習		10	
短文穴埋め問題	a 文法問題 b 語彙問題		15	
長文穴埋め問題	a 文法・語彙問題 b 文脈問題		3	
読解問題	a スキミング・スキヤニング b 新聞やオンラインの記事を読む	通年	5	
語彙	a オンラインでの単語クイズ(課題) b 単語テスト		44	AH

2025 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

一般科目

1 / 2 ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	キャビンアテンダント・グ ランドスタッフ科	担当	クライヴ	開講時期	2 年次 通年
科目名	エアライン英語 II	授業 方法	講義・演習・実習	教育時間	2 3
教科書	English for Cabin Crew (Cengage Learning)				
参考書	Aviation English For ICAO Compliance (MacMillan) Check Your Aviation English (MacMillan)				

教 育 の 内 容				
授業概要	授業は教科書に基づいて行われ、実戦的な航空シチュエーションの録画やビデオクリップによってサポートされるため、受講生は積極的に参加し、フィードバックを行うことができる。また、生徒の課題用に印刷教材も提供される。			
実務経験	日本での英語教師歴30年以上。書籍や医学論文の翻訳、様々な場面での通訳。			
授業の進め方	テキスト、ワークシート、オーディオクリップ、ビデオクリップの使用			
到達目標	このコースの目的は、受講生に現代航空英語のあらゆる側面を総合的に習得してもらうことです。具体的には、関連する語彙、スピーキングスキル、一般的な知識など、現代のエアライン・プロフェッショナルに必要な不可欠な知識を習得することを目的としています。			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	40%	40%	20%	100%
授 業 計 画 (1 単位時間＝ 5 0 分)				
No.	教 育 項 目		時 間	備 考
前期				
AH	(Aviation English (資料本) Runway incursion		3	
	(Aviation English (資料本) Technology		3	
	(Aviation English (資料本) Animals		3	
	(Aviation English (資料本) Health		3	
English for Cabin Crew 教科書	(教科書) The Pre-flight Briefing		1	
	(教科書) Welcome on Board		1	
	(教科書) After Takeoff and into the Flight		1	
	(教科書) Food and Drinks		1	
	(教科書) Minor Passenger Problems		1	
Check Your Aviation English	第 1 章＋進歩テスト		2	
	第 2 章＋進歩テスト		2	

教科書	第 3 章＋進歩テスト	2	
特別 講座	Quick drills (即答演習)	1	
	Situational English (シチュエーション英語)	1	
後期			
AH	(Aviation English (資料本) Fire	3	
	(Aviation English (資料本) Metereorology	3	
	(Aviation English (資料本) Landings	3	
	(Aviation English (資料本) Fuel	2	
	(Aviation English (資料本) Pressure	3	
	(Aviation English (資料本) Security	2	
English for Cabin Crew 教科書	Is There a Doctor on Board?	1	
	In-flight Emergencies	1	
	Complaints and Disruptive Passengers	1	
	Preparing for Landing	1	
	Saying Goodbye	1	
Check Your Aviation English 教科書	第 4 章＋進歩テスト	2	
	第 5 章＋進歩テスト	2	
	第 6 章＋進歩テスト	2	
特別 演習	Quick drills (即答演習)	1	
	Situational English (シチュエーション英語)	1	
	Specialized vocabulary (専門用語)	1	
	Listening drills (リスニング・ドリル)	1	

学科	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフ科	学年	2年
科目	エアライン英 II	授業方法	講義・実技

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
AH	(航空英語教科書第1章) Avoiding miscommunication	4月～9月	1	
	(航空英語教科書第1章) Airport layout		1	
	(航空英語教科書第1章) Ground operations		1	
	(航空英語教科書第3章) Datalink		1	
	(航空英語教科書第3章) Flight control systems		1	
	(航空英語教科書第3章) Instrument blackout		1	
	(航空英語教科書第4章) Wildlife on the ground		1	
	(航空英語教科書第4章) Animals on the loose		1	
	(航空英語教科書第4章) Bird strike		1	
	(航空英語教科書第6章) Is there a doctor on board?		1	
	(航空英語教科書第6章) Stressed?		1	
	(航空英語教科書第6章) Medical emergency		1	
English for Cabin Crew 教科書	The Pre-flight Briefing	4月	1	
	Welcome on Board	5月	1	
	After Takeoff and into the Flight	6月	1	
	Food and Drinks	7月	1	
	Minor Passenger Problems	9月	1	
Check Your Aviation English 教科書	第 1 章 + 進歩テスト	5月	2	
	第 2 章 + 進歩テスト	6月	2	
	第 3 章 + 進歩テスト	7月	2	
特別講座	Quick drills (即答演習)	6月	1	
	Situational English (シチュエーション英語)	7月	1	
AH	(航空英語教科書第 7 章) Fire risk	10月～2月	2	
	(航空英語教科書第 7 章) Smoke-jumper			
	(航空英語教科書第 7 章) On-board fire			
	(航空英語教科書第 8 章) Microburst		2	
	(航空英語教科書第 8 章) Airport disruption			
	(航空英語教科書第 8 章) Stormy approach			
	(航空英語教科書第 9 章) Touchdown		2	
	(航空英語教科書第 9 章) Letting down a VIP			
	(航空英語教科書第 9 章) Undercarriage			
	(航空英語教科書第 10 章) Aviation and global warming		2	
	(航空英語教科書第 10 章) Gimi glider			
	(航空英語教科書第 10 章) Fuel icing			
	(航空英語教科書第 11 章) Blast		2	
	(航空英語教科書第 11 章) Damage			

	(航空英語教科書第 1 1 章) Emergency descent		2	
	(航空英語教科書第 1 2 章) Air rage			
	(航空英語教科書第 1 2 章) Suspicious passengers			
	(航空英語教科書第 1 2 章) Unlawful interference			
English for Cabin Crew 教科書	(教科書) Is There a Doctor on Board?	10月	1	
	(教科書) In-flight Emergencies	11月	1	
	(教科書) Complaints and Disruptive Passengers	12月	1	
	(教科書) Preparing for Landing	1月	1	
	(教科書) Saying Goodbye	2月	1	
Check Your Aviation English 教科書	第 4 章 + 進歩テスト	10月	2	
	第 5 章 + 進歩テスト	12月	2	
	第 6 章 + 進歩テスト	1月	2	
特別 講座	Quick drills (即答演習)	10月	1	
	Situational English (シチュエーション英語)	11月	1	
	Specialized vocabulary (専門用語)	12月	1	
	Listening drills (リスニング・ドリル)	1月	1	

2025授業計画書（シラバス）

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	キャビンアテンダント・グランド スタッフ科	担当	堀尾昌伸 (常勤)	開講時期	2・3年次 通年
科目名	一般教養Ⅱ(非言語)	授業 方法	講義・演習・実習	教育時間	24
教科書	史上最強SPI&テストセンター超実践問題集				
参考書	月間〔エアステージ〕 イカロス出版株式会社				

教 育 の 内 容				
授業概要	就職試験で問われるSPIの非言語分野の基礎知識を身に付ける			
実務経験	—			
授業の進め方	実践問題を解きながら知識を深めていく			
到達目標	1 SPI非言語分野の問題を解くことができる 2 CAやGS受験の際出題される問題を時間内に解くことができる			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	30%	—	20%	50%
授 業 計 画				
(1単位時間=50分)				
No.	教 育 項 目		時 間	備 考
1	SPI非言語分野		24	

学科	キャビンアテンダント・グランドスタッフ科	学年	2・3年
科目	一般教養Ⅱ(非言語)	授業方法	講義

2/2ページ

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
S P I 非 言 語 分 野	a 特殊算	4月	2	
	b 情報の読み取り	5月	3	
	c 推論(正誤)	6月	3	
	d 推論(順序)	7月	3	
	e 推論(内訳)	9月	3	
	f 推論(整数)	10月	2	
	g 推論(平均)	11月	2	
	h 推論(対戦)	12月	2	
	i 推論(%)	1月	2	
	j 推論(位置関係)	2月	2	

2025 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	キャビンアテンダント・グランド スタッフ科	担当	寺本 聖菜	開講時期	2・3年次 通年
科目名	旅行知識	授業 方法	講義・演習・実習	教育時間	48
教科書	国内観光資源 国内観光地理ノート				
参考書	—				

教 育 の 内 容				
授業概要	日本国内の観光地や伝統品、特産品を学び就職活動や社会人生活において活かす。			
実務経験	—			
授業の進め方	教材を基にノートへの記入を行い、その地域の解説を細かく行う。			
到達目標	都道府県ごとの特色や観光地を知り、興味を持つ。また知識が航空業界で働くうえでお客さまとの会話のきっかけとなるよう取り組む。			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	80%	0%	20%	100%
授 業 計 画				
(1単位時間＝50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	北海道～東北地方	7		
2	関東～中部地方	21		
3	近畿・中国・四国・九州地方	20		
4				
5				
6				

学科	キャビンアテンダント・グランドスタッフ科	学年	2・3年
科目	旅行知識	授業方法	講義

2/2ページ

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
	a.北海道	4月	1	
	b.東北地方	4月～5月	6	
	c.関東地方	6月	7	
	d.中部地方	7/9月	9	
	e.近畿地方	10月	7	
	f.中国地方	11月	5	
	g.四国地方	12月	4	
	h.九州地方	1月	8	

2025 授業計画書 (シラバス)					
科目区分	専門科目 ・ 一般科目			1/2ページ	
(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	CAGS科	担当	メランビー・ジャック (常勤)	開講時期	常
科目名	英会話I	授業 方法	講義・演習・実習	教育時間	48
教科書	Speakout 3rd Edition B1 (C2-2)				
	Speakout 3rd Edition B1+ (C2-1/C3)				
参考書					

教 育 の 内 容				
授業概要	文法、単語、長文を重視せず、外国人のお客様と話すことに大事な英会話スキルを身に着けさせます。			
実務経験	英語のネイティブスピーカー、CELTA英語指導資格も持っています。			
授業の進め方	教科書のそれぞれの話題についてグループやペアで英会話します。			
到達目標	C1-1日奥深い話題についてすらすらと英語で話せます。 C1-2 ある程度難しい話題についてすらすらと英語で話せます。			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	なし	60%	40%	100%
授 業 計 画				(1単位時間 =50分)
No.	教 育 項 目		時 間	備 考
1	C2-1: Speakout B1+: Chapter 1: me & mine C2-2: Speakout B1 Chapter 1: people		6	
2	C2-1: Speakout B1+: Chapter 2: behaviour C2-2: Speakout B1 Chapter 2: stories		6	
3	C2-1: Speakout B1+: Chapter 3: working life C2-2: Speakout B1 Chapter 3: questions		6	
4	C2-1: Speakout B1+: Chapter 4: fact or fiction? C2-2: Speakout B1 Chapter 4: winners		5	
5	C2-1: Speakout B1+: Chapter 5: consumer C2-2: Speakout B1 Chapter 5: news		6	
6	C2-1: Speakout B1+: Chapter 6: places C2-2: Speakout B1 Chapter 6: creators		6	
7	C2-1: Speakout B1+: Chapter 7: connect C2-2: Speakout B1 Chapter 7: travel		6	
8	C2-1: Speakout B1+: Chapter 8: wisdom C2-2: Speakout B1 Chapter 8: know-how		5	
9	実技テスト		2	

学科	CAGS科	学年	1年生2／2ページ		
科目	英会話 I	授業方法	講義		
項目	育 内 容		実施月	教育時間	備考
C2-2: 友達などの話 C2-1: 自分のものなどについて話す	a. C2-2: 人間関係の話を C2-1: 自分の話を		4～5月	8	
	b. C2-2: いい人について話 C2-1: 自分の好みについて話				
	c. C2-2: 会話を続ける練習を C2-1: 忘れることについて話				
	d. C2-2: 人のそれぞれの生活について話 C2-1: 自分の電気のものについて話				
C2-2: 過去の話 C2-1: 態度などについて話す	a. C2-2: 思い出について話 C2-1: 自分の習慣を変えることについて話		5月	8	
	b. C2-2: 好きな映画について話 C2-1: 他人を喜ばすことについて話				
	c. C2-2: 言い訳や謝罪について話 C2-1: いらいらさせることについて話				
	d. C2-2: 観光地の話を C2-1: 熱帯について話				
C2-2: 質問の話 C2-1: 仕事について話す	a. C2-2: 数字や発明の話を C2-1: 在宅ワークについて話		6月	8	
	b. C2-2: 決断について話 C2-1: 派遣について話				
	c. C2-2: 英語でお願いする C2-1: 面談について話				
	d. C2-2: 自分にとって大事なことを話 C2-1: それぞれの好みについて話				
C2-2: 勝利の話 C2-1: 嘘と真実について話す	a. C2-2: 勝利について話 C2-1: 捏造について話		7月	7	
	b. C2-2: 記録や発明について話 C2-1: ドキュメンタリーについて話				
	c. C2-2: 新しいスポーツについて話 C2-1: ニュースについて話				
	d. C2-2: 旅について話 C2-1: 偽物友達について話				
テスト	a. 英会話実技テスト		7月	1	
C2-2: ニュースの話 C2-1: 消費者について話す	a. C2-2: フェイクニュースについて話 C2-1: カスハラについて話		9月	8	
	b. C2-2: 自然を守ることに C2-1: 広告について話				
	c. C2-2: いいニュースと悪いニュースについて話 C2-1: 決断について話				
	d. C2-2: ニュースの未来について話 C2-1: 自分一人で何をするかについて話				
C2-2: 創造力の話 C2-1:	a. C2-2: 天才について話 C2-1: 町について話				

場所の話	b. C2-2: 創造力について話す C2-1: ストレスについて話す	10月	8	
	c. C2-2: 面白い美術について話す C2-1: 交通機関について話す			
	d. C2-2: 美術者の人生について話す C2-1: 未来の都市について話す			
C2-2: 旅行の話 C2-1: 絆について話す	a. C2-2: 観光客について話す C2-1: 誤解について話す	12～2月	8	
	b. C2-2: 外国での経験について話す C2-1: シェアしすぎることについて話す			
	c. C2-2: 有名な町について話す C2-1: 会話を続けることについて話す			
	d. C2-2: 一人旅について話す C2-1: コミュニケーション力について話す			
C2-2: 知識の話 C2-1: 知恵の話	a. C2-2: 夢の生活について話す C2-1: アドバイスについて話す	2～3月	8	
	b. C2-2: オンライン動画について話す C2-1: 学んだことについて話す			
	c. C2-2: 問題解決について話す C2-1: 自分が知っていることについて話す			
	d. C2-2: 天才子供について話す C2-1: ビジネスについて話す			
テスト	a. 英会話実技テスト	3月	1	

2025 授業計画書 (シラバス)

科目区分

専門科目

・ 一般科目

1/2ページ

(専) 日本航空大学校					
学科 コース名	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフ 科 2年制コース・語学研修専攻コース	担当	島尻朋花	開講時期	2年次
科目名	航空総合知識	授業 方法	講義・演習・実習	教育時間	24
教科書	航空総合知識				
参考書					

教 育 の 内 容				
授業概要	航空業界全体や航空機についての幅広い知識を身に着け、客室乗務員だけではなく全体への理解を広げる。			
実務経験	客室乗務員			
授業の進め方	教室にてテキストや動画を用いて航空総合知識を学ぶ			
到達目標	航空業界への幅広い知識を身に着ける 航空検定の取得を目指す			
学業成績の 評価方法	期末得点	実技点	評点	評価点
	50%	0%	50%	100%
授 業 計 画				
(1単位時間＝50分)				
No.	教 育 項 目	時 間	備 考	
1	飛行機の歴史	4		
2	航空業界の仕事	10		
3	航空工学	5		
4	航空気象	5		

学科	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフ科 2年制コース・語学研修専攻コース	学年	2年
科目	航空総合知識	授業 方法	講義

項目	教 育 内 容	実施月	教育時間	備考
の飛行 歴史機	a 航空機の始まり、歴史 b 現代の航空機	4・5月	4	
航空 業界 の 仕事	c 空港での仕事 d 客室乗務員の仕事 e グラウンドスタッフの仕事 f パイロットの仕事 g 航空管制官の仕事 h 航空整備士 i グランドハンドリング	5～9月	10	
航空 工学	j 飛行機が飛ぶ仕組み k 飛行機の構成 l 航空力学の基礎	10・11月	5	
航空 気象	m 大気の構成 n 気圧	12～2月	5	